004 TICA

3 月 11 日以降、新聞を含め活字を読んでいないので社会のことが全くわからないで生きています。

著作	著者	あらすじ・感想
虚ろ舟 泣きの銀次参之章	宇江座真理	【「虚ろ舟」と呼ばれる光の球が轟音を立てて頭上を通り過ぎるのを銀次は見た。銀次の周囲には、次々と奇っ怪な事件が起こる。死体を見ると涙が止まらない、風変わりな岡っ引き・銀次、五十路を前に新たな試練】 いい人と悪い人が逆転することはよくあるが、それがあっという間に起きてとたんに態度が変わってしまう。あっという間にも驚いたが、もうひとつ、第２章ではいい人で出ていた人が急に極悪人になっていたのも裏切られた気持ち。読者の思い入れを無視した人物設定。 また虚ろ舟が江戸時代に大洗の空に現れたことが史実に書かれていることだとしても、この話にＵＦＯは唐突すぎて違和感がある。題名にしているくらいだからその違和感が話の全編に現れてしまっている。 銀次のシリーズは２０００年、２００７年、２０１０年の出版。話の中でも間が空いているので呑気に楽しむのが難しい。 講談社創業１００周年で頼まれて書き下ろしたのがこの第三章とのこと。これで銀次を終わらせたかったが出版社が最終章とつけさせてくれなかったとも書いてあった。そういう内輪の話は読者には関係のないこと。面白い話を書いてくれればよいのです。こういう話を書いてしまうところをみると、作者はもうとっくに銀次を終わらせたつもりでいたのではないかと思う。わたしも終わっていた方がよかったと思う。
ある閉ざされた 雪の山荘で	東野圭吾	【乗鞍高原のペンションに集まったのは、オーディションに合格した男女７名。これから舞台稽古が始まる。豪雪に襲われ孤立した山荘での殺人劇だ。だが、１人また１人と現実に仲間が消えていくにつれ、彼らの間に疑惑が生まれた。はたしてこれは本当に芝居なのか？驚愕の終幕が読者を待っている！】
卒業	〃	再読。【7 人の大学 4 年生が秋を迎え、就職、恋愛に忙しい季節。ある日、祥子が自室で死んだ。部屋は密室、自殺か、他殺か？大学生名探偵・加賀恭一郎は、祥子が残した日記を手掛りに死の謎を追求する。しかし、

		第２の事件はさらに異常なものだった。茶道の作法の中に秘められた殺人ゲームの真相は？】 いまどき、加賀恭一郎というだけで売れているんだろうな。健ちゃんはなぜか東野圭吾を全部読み直すつもりらしい。
謎解きは ディナーのあとで	東川篤哉	友達が終わりまであと２，３ページというところに栞を挟んだまま面白くないからもういいと貸してくれた。それほどつまらなくないじゃんと思って読んだら本屋大賞。それほどには面白くない。 手垢がついているキャラだし、当時、小学生がよく読んでいた赤川次郎みたい。どうせシリーズになるんだろうな。表紙の絵が「四畳半神話大系」など大人気のイラストレーター、中村佑介。
シャドウ	道尾秀介	再読。【凰介の母は病死し父と二人だけの生活が始まって数日後、幼馴染みの母親が自殺したのを皮切りに、次々と不幸が…。父とのささやかな幸せを願う小学五年生の少年が、苦悩の果てに辿り着いた驚愕の真実とは？本格ミステリ大賞受賞作】

【演劇ぶっく】

2010 年えんぶチャート作品部門は
小林賢太郎プロデュース「ロールシャッハ」が２位。
賢太郎のソロパフォーマンス「ＳＰＯＴ」が１０位。
が、しかし、俳優部門は並みいるジャニーズたちを軽く
押しのけ賢太郎が１位！！
おかげで４ページにわたってインタビューページがある。

「ＳＰＯＴ」の再演「ＴＨＥ　ＳＰＯＴ」に行くときに
予約していたこの本を取って、読みながら東京天王洲の
銀河劇場に行った。
その日３月９日が「ＴＨＥ　ＳＰＯＴ」の初日。
そしてその翌日で東京公演は中止になった。
３月１１日のそのとき、賢太郎はアトリエにいて、すぐに
銀河劇場に駆けつけそこで足止めを食い一夜を過ごした。
自粛が言われる中、賢太郎は３月１６日に舞台に立つと
宣言した。泣いている人を笑わすことに憧れている人が
いつも以上に本気を出して今も日本中をまわっている。